

令和5年9月1日 岐宿小学校だより第10号



えがお

五島市立岐宿小学校 校長 増田 祥子

○思いやりのある子
○楽しく学ぶ子
○たぐましい子
笑顔あふれる、心身ともに
たぐましい子供を育てます!

地域の方とのふれあい活動

8月28日(月)3校時、「地域の方とのふれあい活動」と称し、老人会の皆様との交流を行いました。コロナ禍前はペタンクをして交流していたそうです。コロナ禍で交流がなくなったこともあったのか、昨年度着任早々、「学校がなくなって子供の声は聞かんねえ。子供がおっとかどうかもわからん。」という地域の方の声を耳にしました。また、学校でも「知らない人に声をかけられた。」という不審者?情報があり、詳細を尋ねると、地域の方があいさつをして見守ってくださっていたようでした。知らない人=不審者と認識している子供の姿があり、本当に悲しい気持ちになりました。みんなが知り合いになれば、両方が解決するのではという思いから、今回は同じ居住地区のメンバーでお話をたくさんできる交流にしてみました。

グループは、岐宿を3班、川原を2班、山内を2班の合計7班に分け編成しました。活動内容はシンプルに①自己紹介をする ②玉入れをする、場所は冷房が効いた各教室です。開閉会のあいさつは運営委員会の子供が放送室から、各グループでの進行は6年生が、受付や準備・片付けは5年生がしてくれました。受付では、5年生が名前を確認し、名札に読み仮名を書き加え、名札を付けてあげる姿が見られました。また、帰りには「ありがとうございました。」とおじぎをしながらお茶のペットボトルを両手で渡す姿があり、微笑ましく思いました。

老人会の方の「そんな名字の人もおったっじゃんね。知らんじゃったよ。」「(名札を隠しながら)俺の名前は覚えたか?」などの声が聞こえ、当初の目的は達成できたのではないかと思います。いかがだったでしょうか。今後、今日の出会いをきっかけに地域でのあいさつなどにつながることを期待しています。



各グループでの活動の様子

下の各グループの写真は、開会あいさつ前の緊張感たっぷりの時間帯や6年生が進行をしているものです。玉入れは、1m離れた場所から大きさが違う的をねらって入れます。大きさが点数も異なり、洗いおけ（10点）、バケツ（20点）、植木鉢（30点）、竹（40点）で、ねらう場所も人それぞれだったようです。結果は、山内 A が唯一の30点台で優勝しました。当日参加して下さった20名の老人会の皆様、社会福祉協議会職員様、公民館主事様ありがとうございました。



岐宿 A



岐宿 B



岐宿 C



山内 A



山内 B



川原 A



川原 B 班



玉入れの様子

